

くみあいニュース

山口大学教職員組合 (2026 年 7 月 30 日 Thursday)

第 312 号 (2025 年度-第 1 号) / 電話 : 083-933-5034 ・ メール : fuy-union@galaxy.ocn.ne.jp

組合の話に納得し加入者続々と (吉田地区分会) ～まずは組合を身近に感じてもらおうとランチミーティング (7/15)～

賃上げ凍結に研究費大幅削減と山口大学教職員は将来に希望が持てない状況に追い込まれつつあります。そうした窮状のなか、希望を持って語り合い、ともに大学に声を上げていくにはやはり組合しかないということで、吉田地区 A 分会が独自に組合員拡大につながる企画を開催しました。当日は分会長の司会のもと、組合本部役員から組合のとりくみや成果、組合加入のメリットなどを説明した後、参加者のみなさんからそれぞれ組合への疑問・要望などを出していただくなどして、分会が用意した弁当に舌鼓を打ちながらのランチミーティングとなりました。



参加された組合未加入教職員のほとんどが組合加入で倍増！

ミーティングの結果、当日参加された組合未加入のほとんどの方が組合へ加入されました。同分会の組合員数は一気に倍以上となり、分会役員・組合執行部ともに喜び合ったところです。分会役員の方々は、今後ともまだ加入されていない教職員へのお声がけを続けようと張り切っておられます。組合執行部は、今回の A 分会のとりくみ・成果を他の分会にも広げるための計画を推進中です。

第 58 回 (2025 年度) 組合定期大会開催 (7/4)



7 月 4 日 (土)、山口大学教職員組合第 58 回定期大会を吉田キャンパス事務局 2 号館第二会議室で開催しました。本来であれば昨年 2025 年 10 月に開催すべきところでしたが、ご承知のとおり、昨年秋の学費値上げ、学生のビラ配布規制、人勧の 2 年間放置などの大問題への対応に手を取られ、伸び伸びになっていたものです。大会では、出席の代議員のみなさんから、様々な意見・活動報告がおこなわれ、全会一致で運動方針・予算案等を決めることができました。

2025 年度の組合役員は今年 1 月から 2 月にかけておこなった役員選挙で選出済みでしたが、今回の定期大会開催当日 7 月 4 日より、新執行部スタートとなりました。取り組み推進の核となる三役は、三原委員長 (教育分会・留任)・桑畑副委員長 (人文理分会・留任)・藤原副委員長 (人文理分会・留任)・森下書記長 (教育分会・留任) の各氏です。なお、大会では第 6 号議案で鴨崎氏 (組合参与) を特別執行委員に選出しました。今後、新執行委員会は、定期大会 10 月開催をめざしつつ、人勧を踏まえた賃金引上げを実現すべくとりくみを進めることになります。

7 月 28 日夕刻に発生した令和 8 年熊本地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

熊本県ご出身及び関係教職員の皆様におかれては、最大震度 7 の大地震に大きな衝撃を受け、ご家族・知人などの安否を気付かわれておられることかと思います。被災地の安全が早期に確保され、1 日も早く安寧な日々を取り戻されますことを、心よりお祈り申し上げます。

5/15 団体交渉を踏まえ学長との再交渉求め申入れ(7/17) ～団交後の「学長補足説明(5/15)」では人勧放置解除不明～

組合は5月15日に学長出席のもとでの団体交渉をおこないましたが（詳細は前号で掲載）、その後、第263回部局長会議（7/7）で2025年度（R7年度）決算が報告され、第280回教育研究評議会（7/14）での学長による口頭説明の情報を踏まえ、再度の団体交渉開催を申し入れ、診療報酬改定による収入増等が明らかになる8月を目途に応じるよう求めました（申入書は組合ホームページに掲載）。その後の事務レベル間での話では、診療報酬改定による財政の全体像は9月以降にならないとはっきりしないなどと釈明がありましたが、8月初旬には2026年の人事院勧告が出されますので、交渉をいつまでも引き延ばすわけにはいきません。

各学部で教員研究費大幅減額 ほぼ半額の部局も ～物価高騰のもと上がりぬ賃金減る研究費 こんな大学に誰がした？～

賃金は上がりぬうえに研究費も減ったとの声が組合に次々に届いたため、組合がいくつかの学部の状況を調べたところ、いずれも昨年度に比べて大幅に減額されていることが判りました。

【吉田地区】2026年度（カッコ内は、2025年度）

- ▶ 人文学部：14万円（21万円） ▶ 教育学部：9万円（9万円）
- ▶ 教育・学生支援機構：8万円（15万円）



【宇部地区】▶ 工学部：2025年度の48%減 ▶ 医学部：2025年度の約40%減

国立大学教員の平均的年間個人研究費は、およそ20万円～30万円程度とされています。そうであれば、山口大学教員の一人当たり研究費は、判明した範囲でですが年間10万円以下の部局も複数あるため、引上げが凍結されている賃金同様、全国最低水準レベルとなっている可能性があります。教員以外の職種の方からも「優秀な人材が他大学に異動するのではないかと」状況を危惧する声が寄せられました。実際にみなさんの身近なところでも流出は起こっているのではないのでしょうか。科学研究費・共同研究費など外部資金を獲得すればよいだけのことと思われる方もおられるかもしれませんが、誰もが毎回獲得できるという確約はありませんし、外部資金を得るとしても研究の土台を支えるためには一定程度の部局配分の研究費は必要です。

【6月以降の主な取り組み～詳細は続報予定】

全大教中国四国地区教職員研究集会(6月13日-14日/松山市:愛媛大学にて)

山口大学教職員組合退職者の会総会(6月20日)…旧交を温める

学生ビラ配布規制問題で組合と教育・学生担当野崎理事と意見交換(6月30日)

医学部長・附属病院長・看護部長・事務部長との懇談会開催(7月8日)

全大教第59回定期大会開催(7月11日/オンライン)

ご存じですか？



自動車のガソリン代値上げは家計に大きく響いていますが、ガソリン代は地域によって相当の価格差があることは皆さん知っておられると思います。今回は、まだお気づきでない方もおられるかもしれないということで2つほどお得情報をどうぞ。

今(2026年7月現在)、山口市中心部のセルフサービスのガソリンスタンドは概ね、レギュラーガソリンで1リットル165円(ハイオクは176円)となっていますが、山口市でも1ℓ当たり158円(ハイオク168円)というお店が山口大学近くの「JASS(吉田)」と「サンピット山口(大内問田5丁目)」の2軒あります。これが、宇部市では159円と山口市より6円程安いスタンドが多いようですが、1ℓ155円という超お勧めのスタンドが小郡バイパス岡屋IC高架下脇(山口市江崎)に！

＜申入書はこちらから＞

組合公式ホームページ

